2026 年 11 月 6 日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

（2026 年 11 月 6 日）

（本件に関するお問い合わせ先）
日本銀行北九州支店　Tel 093-541-9112
当資料は当店ホームページにも掲載しています。
（https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html）

１．総論

北九州・京築地区の経済は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、横ばい圏内で推移している。輸出は、緩やかに回復している。設備投資は、増加している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

こうした中で、生産は、下げ止まっている。雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

【前回との比較】

項目		前回	今回
景気判断		一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。
需要項目	公共投資	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
	輸出	下げ止まっている。	緩やかに回復している。
	設備投資	増加している。	増加している。
	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。
	住宅投資	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
生産		下げ止まっている。	下げ止まっている。
雇用		緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

２．需要項目別動向

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

輸出は、緩やかに回復している。
北米向けおよびアジア向けを中心に、緩やかに回復している。

設備投資は、増加している。
9 月短観をみると、2026 年度の設備投資計画は前年を上回っている。製造業を中心に、堅調な企業収益を背景として、能力増強投資を行う先が目立つほか、省力化投資や環境関連投資を行う先もみられている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。
食料・日用品の販売は、物価上昇を受けて、弱めの動きがみられている。飲食関連等のサービス消費は、緩やかに増加している。乗用車販売は、持ち直している。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

３．生産

生産は、下げ止まっている。

▽業種別生産動向

鉄鋼	横ばい圏内で推移している。
セメント	弱めの動きとなっている。
化学	弱めの動きとなっている。
住設機器	横ばい圏内で推移している。
電気機械	下げ止まりつつある。
電子部品	緩やかに持ち直している。
自動車	下げ止まっている。

４．雇用

雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

５．物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、＋２％程度となっている。

６．企業倒産

企業倒産をみると、振れを伴いつつ増加している。

７．金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回っている。

以　上